

水戸殉難者恩光碑保存会 会報

知恩

第三号



本会設立第二二年目を迎えて

初春に想う

会長 大森信英

「光陰矢の如し」本会も、早いもので2年目を迎えました。昨年度は、本会を設立、水戸藩諸生派殉難者の百四十年回忌の節目の年にあたり、祇園寺に於いて来賓のご参列を頂き慰霊法要を盛大に行いました。本年は、会則に則り、現地に参り戦没した水戸藩諸生派の人々を供養したいと存じます。(3頁参照)

昨年・平成十九年は、従来、長い

間水戸藩諸生派は光の当たらない状況にありましたが、茨城新聞グループ、茨城県立図書館主催による茨城新聞での連載記事「市川勢の軌跡」と連携して、

「戊辰戦争と水戸藩市川勢の軌跡」写真展が開催され、当初開催予定期間を延長する程多くの市民の関心を集めました。8月には匝瑳市立八日市場図書館(千葉県)で又、旧水戸藩領・那珂川町馬頭郷土資料館(栃木県)でも写真展が開催されました。各所で大きな反響がありました。

本年は、会津若松市文化センター(福島県)、長岡市民センター(新潟県)で順次開催されると伺っています。水戸藩幕末維新史の知られざる面が明らかにされたものであり、史実を客観的に見る心ある人々が居ること客観的に知りました。主催者・茨城新聞グループのご努力に厚く感謝申し上げます。

幕末水戸藩の激烈な競争に於いて最終的に敗者となった諸生派の人々は勿論のこと、その家族も含めて悲惨な状況となり、すべてを失ってしまいました。

これは、鎌倉時代より武家政治が続いていて国家の権力闘争(政敵を

全滅する)は歴史上明らかであり、水戸藩両派の権力闘争も同じであったと思わざるを得ません。

水戸藩は、政治的には「徳川ご三家」として幕府を支援する立場にあり、学問的には「尊王攘夷思想の発祥の地」であり、藩士としては尊王敬幕攘夷の道を進んだと思われるが、結果として幕府崩壊明治維新に大きな影響を与えたのも事実であると思えます。内憂外患、時代の推移とともに水戸藩党争も権力闘争激化し複雑化し混乱の極に達して、その結末は悲惨な結果となりました。

唯、残念なことは、歴史は、勝者によって作られるものであり、郷土の歴史についても同じであり、敗者の記録は極めて少なく殆どありません。すべて焼却処分されてしまったのではないかと思われます。そして、勝敗を超えて、後の明治の世に活躍したであろう有為の人材を失ってしまった事は大変残念なことでありました。

現代においては、私どもは、水戸藩幕末維新の歴史の真実を見極めて、殉難者を純粹に慰霊・供養するのみであり、改めてご冥福をお祈りする次第であります。これを教訓として、人々の平和を願う心を大切にして参りたいと思えます。

副会長 朝比奈光一

現在、祇園寺の恩光無辺碑の裏面に刻字されている水戸藩諸生派殉難者は、561名を数えます。その内、未だ、多くの人々が行方不明の状況にあります。又、多くの諸生派子孫関係者の方は所在不明であります。

私どもは、一人でも多くの方と共に諸生派殉難者の慰霊供養をして参りたいと念願しています。

尚、会員の皆様におかれましては、ご都合により(遠方のため、高齢のため、又、病氣など体調の関係等々により)法要行事に参加が困難の方がおられるとの事でありますが、本誌上を借りて役員一同を代表して心よりお見舞い申し上げます。

たとえ、法要行事に参加困難でもご先祖を思う心は同じであります。ご先祖を思う慰霊供養の心は必ず届くものと信じています。

どうぞ、会報等に目を通してご理解下さいませお願い致します。又、私どもは、子孫関係者に限らず、本会の趣旨ご賛同の方々から、どなたでも入会を歓迎致します。

共に、勝敗を超えて歴史の真実を見極めて参りたいと存じます。

水戸殉難者恩光碑保存会 会報知恩3号

第1号議案

- 平成19年度 行事報告(平成18年10月22日から平成19年12月31日まで)
- 1 水戸殉難者恩光碑保存会 設立
平成18年10月22日 紙園寺において設立総会を開催
 - 2 役員会 開催3回
水戸殉難者恩光碑保存会 執行のため、諸事務打ち合わせを行う
 - 3 事務局会 開催3回
役員会に提出するための議題について、協議する
 - 4 事務局会報編集委員会 開催2回
会報・知恩の編纂打ち合わせを行う
会報知恩第1号 発行・平成19年10月16日
会報知恩第2号 発行・平成19年10月31日
 - 5 水戸殉難者恩光碑保存会 執行する
平成19年9月22日 水戸市八幡町11-69 紙園寺境内 恩光原辺碑・前において
監査法要式典を執行する
式典終了後、大広間にて懇親交流の会を行う

第3号議案

- 平成20年度 行事計画(平成20年1月1日から平成20年12月31日まで)
- 1 定時総会 開催 平成20年3月16日(土曜日) [3月16日]
 - 2 役員会 開催2回
1 定時総会 準備確認 [2月]
2 本平行事実施 確認 次期行事検討 [10月]
 - 3 事務局会報編集委員会 開催3回
1 定時総会 準備打ち合わせ [2月]
2 現地監査 準備打ち合わせ [2月]
3 会報知恩第3号 編纂打ち合わせ [4月]
4 会報知恩第4号 編纂打ち合わせ [10月]
4 その他必要に応じ事務局会報及び会報知恩編集委員会を開催する
 - 4 会報知恩及び電子「市川勢の軌跡」作成と発行予定
1 「市川勢の軌跡」電子 発行・平成20年4月中旬予定
2 会報知恩第3号 発行・平成20年4月中旬予定
3 会報知恩第4号 発行・平成20年11月中旬予定
 - 5 1 現地監査 千歳県道市八日市橋・諸生紙園城跡の地・監査訪問予定
平成20年10月6日 「日帰りバス旅行」

第5号議案

- 水戸殉難者恩光碑保存会 会則一部改正の件
会則の一部を次のとおりに変更・改定する
(会員)
- 旧会則 第4条 本会は、水戸藩跡生原の後継子系、親族、縁者、及び、本会の目的達成のため賛同した者を会員として組織する。
- 新会則 第4条 本会は、水戸藩跡生原の後継子系、親族、縁者、及び本会の趣旨賛同者のうち、年会費納入者を会員とする。
- (会計)
- 旧会則 第11条第3項 会計年度 10月1日に始まり、翌年9月30日に終わる。
- 新会則 第11条第3項 会計年度は、1月1日に始まり、12月31日に終わる。
但し 初年度は、平成18年10月22日から平成19年12月31日までとする。

第4号議案 平成20年度収支予算

単位 円

平成20年1月1日から平成20年12月31日まで

収入の科目	金額	摘要	
前年度繰入金	42,077	取崩し繰入金	
年会費	104,000	会員・会費	
寄付金	40,000	任意寄付	
現地監査旅行参加費	150,000	25名x6,000円	
その他	0		
収入合計	336,077		
支出の科目	金額	摘要	
現地監査旅行関連費	150,000	バス代、観光料、雑	
雑費	44,950	印刷費、雑費、通知書送料	
雑費	43,800	会費、多額、菓子等作成費	
会費	28,100	税金、会費、他金庫預け	
事務用品消耗品費	10,000	インク、コピー、封筒、資料用紙等	
雑費	18,527	その他	
法人手数料	8,700	会費徴送料	
印刷費	10,000	印刷	
貯蓄積立	2,000	東京貯蓄センターへ移管	
会費特別積立	20,000	寄付金を恩光碑基金特別会計へ移管	
支出合計	336,077		
差引引き	収入合計	支出合計	差引引き残高
	336,077	336,077	0

期末残高	繰込み	取崩し	取崩し(平成20年12月31日時点)
水戸殉難者恩光碑保存会	0	0	0
東京貯蓄センター	2,000	2,000	0
恩光碑保存会基金特別基金	129,000	129,000	0

水戸殉難者恩光碑保存会
会長 大森信英



平成20年度 水戸殉難者恩光碑保存会
總會次第

とき 平成20年3月16日(土) 午後1時30分より3時30分まで
ところ 紙園寺 客殿において
進行 pm1:30 朝比奈泰仁・幹事

- 1 開会 藤山二郎・副会長
 - 2 会長 挨拶 大森信英・会長
 - 3 住職 挨拶 小原在弘・紙園寺住職
 - 4 議長 選出
 - 5 議事
第1号議案 平成19年度行事報告
第2号議案 平成19年度収支決算報告及び監査報告
第3号議案 平成20年度行事計画案審議
第4号議案 平成20年度予算案審議
第5号議案 水戸殉難者恩光碑保存会 会則一部改正の件
6 閉会 朝比奈光一・副会長
 - 7 その他
- 全・終了 pm3:30 朝比奈泰仁・幹事

第2号議案 平成19年度収支決算

平成18年10月22日から平成19年12月31日まで

単位:円

収入の科目	金額	摘要	
年会費	95,000	会員・会費	
監査法要参加費	184,000	監査法要参加費	
寄付金	176,000	会費及び招待者の寄付金	
前年度繰入金	11,000	20年度会費	
収入合計	466,000		
支出の科目	金額	摘要	
法要関連費	167,465	お布施、供物、香煙と配布資料等	
雑費	68,826	法要、会費、役員会等 諸経費用	
会費	10,000	税金、会費	
事務用品消耗品費	8,812	インク、コピー、封筒、用紙等	
印刷費	15,456	印刷	
雑費	13,584	その他	
法人手数料	8,000	会費徴送料	
貯蓄積立	5,000	東京貯蓄センターへ移管	
基金特別積立	109,000	寄付金を基金特別会計へ移管	
支出合計	423,923		
差引引き	収入合計	支出合計	差引引き残高
	466,000	423,923	42,077
期末残高	水戸殉難者恩光碑保存会	平成19年12月31日残高	
	東京貯蓄センター	42,077	
	恩光碑保存会基金特別基金	5,000	
	合計	109,000	
		156,077	

会計報告

平成19年度収支決算を上記のとおり報告します。

水戸殉難者恩光碑保存会

会長 大森信英

会計 川上有文

会計 大森信男



監査報告

平成19年度収支決算につき 会計帳簿、証憑書類を監査の結果相違ありません。

水戸殉難者恩光碑保存会

監事 戸柴勝文

監事 藤引剛一



総会終わる

幹事 川上有文
平成20年度の定時総会を開催致しました。ご報告致します。

総会開催の前に、会員の皆様を代表して参加者一同で、恩光無辺碑に参拝し、献花・焼香して殉難者を慰霊致しました。

平成20年3月15日祇園寺の客殿・大広間に於いて第1回の定時総会を開催致しました。会則第9条の規定により、代議員各位にはお忙しい所ご出席を頂き有難う御座いました。大森会長が総会議長を務め、所定の各議案を審議の結果、満場一致で承認頂きました。

平成19年度行事報告
収支決算・監査報告

平成20年度行事計画案審議
収支予算案審議

本会・会則1部改正の件

特に現地慰霊訪問について、朝比奈泰仁・幹事より詳しく説明がありましたので別項にまとめました。ご覧頂きは非ご参加をお願い致します。

議事終了後、前沢瑞穂・幹事が講師となり、現在 NHK・大河ドラマ篤姫が放映中ではありますが、篤姫の時代と水戸藩の動向(風雲・水戸藩明治維新の軌跡)のテーマで講話が

ありました。又、会員による活発な意見交換があり有意義なひと時を過ごしました。詳しいことは別項(2頁・総会資料)をご参照ください。
恩光無辺碑(祇園寺境内)



総会・会場(祇園寺客殿)



現地慰霊と参加募集

幹事 朝比奈泰仁
本年は、水戸藩諸生派・壊滅の地千葉県匝瑳市八日市場・関係史跡を訪問して現地供養を行います。

その予定を概略お知らせ致しますので、参加予定の方は事務局にご一報下さいます様お願い致します。

「ハガキで5月31日までに」
参加予定の方には後日改めて訪問旅行の決定事項をお知らせ致します。

記(予定)

- 日時 平成20年10月6日
- 集合場所 1 水戸護国神社下駐車場
- 集合場所 2 水戸駅南大橋上
- 集合時間 後日連絡
- 参加会費 後日連絡「6000円位」
- 水戸藩松山戦争八日市場市関係史跡訪問先予定
- 1 八日市場図書館
- 2 福善寺「諸生派が休憩した寺」
- 3 大松庚申塚「天狗派が陣を張った場所」
- 4 龍生院「諸生派が陣を敷いた寺」
- 5 脱走塚「諸生派の戦死者を埋葬した寺院跡」
- 明治2年「戦死25人墓」建墓
- 大正15年「弔英魂」碑 建碑
- 明治22年「21回忌供養式」
- 昭和41年「脱走塚百年記念式」

6 大阪 「両派の戦闘場所」
7 田久保 「諸生派隊員を葬った蓮光寺境内」

8 西高野 「大木左内の居住地」
市川三左衛門が一時かくまわれたという

9 見徳寺「諸生派戦死者を葬った西生寺跡を管理する寺」
10 安養寺「戦死者を葬った寺」

※ 時間の許す範囲内で訪問予定尚、今回は
諸生を研究する団体「仰天会」
水戸史談・黎明の会、
日立歴史研究会 及び
幕末維新水戸有志を偲ぶ会の
皆様で、参加希望の方と共に
現地慰霊旅行を行いたいと計画
画しています。

皆様のご参加を募集します。
各々の会において参加人員の確認
をお願い致します。

最小催行人数・25人

「水戸の先達」より

室田義文翁のご紹介

昭和八年に幕末殉難志士の忠魂塔「回天神社」とともに、「流芳萬古」碑（篆額田中光顕、撰文徳富蘇峰）を、昭和十年に諸生派のために祇園寺境内に「恩光無辺」碑（篆額室田義文、撰文朝比奈知泉）を、昭和十二年に桂村の黒沢止幾の旧宅に「忠烈無雙」碑（篆額徳川圀順、撰文室田義文、書坂本左狂）をそれぞれ建てることに中心的な役割をはたしたのは室田義文であった。

義文は弘化四年（一八四七）九月十九日室田平八の子として、江戸小石川水戸藩屋敷内で誕生した。母は森かねといつた。幼名は一太郎、はじめ長男のあつかいであったが、八歳上の兄平三郎がいた。後にみずから申し出て次男のあつかいとなる。一太郎は生来虚弱であつたが七歳のとき水戸に移り、弘道館に学ぶ頃から腕白ぶりを発揮するようになる。武芸は面白いが素読はつまらない。「四書」、「五経」を順番に読み、解釈させられる。そこで読めない所があると、師匠の教本をこつそり飯粒で貼ってしまう。それとは知らず師匠はとばしながら講義するから、難しいところはとばし、予定のどこ

ろへ早く到達する。こんないたずらもした。

天狗・諸生両派の争乱の中で明治維新を迎える。長谷川清の一隊に加わり、諸生派追討のため東北に向かう途中で、市川勢が会津から水戸に戻り、水戸城を攻撃しているとの知らせを受け、急遽水戸に戻る。弘道館は市川勢に占拠された。奪回をはかり奇襲をかけて弘道館に突入した一太郎は、右胸部から右肩にかけて鉄砲玉により貫通、左手の肘はザク口のような傷で間接ははずれていた。

水戸藩では佐倉の佐藤尚中を招いて負傷者を治療させた。一太郎についてはあまりにの重傷で、このままがよいとの判断であつたが、氣丈な一太郎の発言に驚き治療を加えた。一命はとりとめたが、後に落馬により関節がはずれ、傷口が化膿してきた。再び佐藤尚中の治療を受ける。傷口の化膿は肩の骨がのこぎり状になつてゐるためで、これをヤスリでごしごし擦った。「この時の痛さは筆舌につくせぬもので、思い出すと今でもぞつとすると」と晩年まで語っている。

廃藩置県の後大政官に出仕し、丸山作樂に従つてカラフトに出張、外国関係に興味を持つ。東京に戻り洋語学校に入学、伊藤博文の知遇を得

て外務省のアルバイトをしながら洋語学校を卒業し、明治五年正式に外務省勤務となる。明治十一年サンフランシスコ領事館勤務となり、名も義文と改めた。外務卿井上馨の秘書、天津領事、釜山領事を歴任した。

明治三十一年メキシコ公使となる。メキシコから一時帰国すると、福州事件が起こつていた。これは台湾総督児玉源太郎らが陸戦隊を派遣してアモイの本願寺別院を焼打ちし、これを口実に出兵する計画であつた。この焼打ちを英国公使館員に目撃され、国際問題に発展する瀬戸ざわであつた。義文は山県総理に懇願されアモイ総督にかけ合い、事件の拡大を未然に防いだのである。

帰国すると加藤外務大臣が事件の処置に不満で加藤と対立し義文は外務省を辞任した。いっぽう伊藤博文からは長州の第百十銀行の立て直しを依頼され、再建に手腕を発揮した。その後益田孝に誘われ北海道の炭鉱汽船の取締役となり、実業界で活躍することになる。

明治四十二年伊藤博文は、ロシアと大陸問題について協議する目的でハルピンに赴いた。室田義文も随行員の一人として従つていた。ロシアの代表はココーフツオフの一行であつた。一行はハルピン駅に伊藤らを

出迎えに来ていた。その駅頭で伊藤は凶弾に倒れる。犯人は安重根だといわれているが、彼は伊藤の顔を知らず、室田を伊藤と間違えていたともいう。

息絶えるまで伊藤のそばにいて、最後のブランドーを含ませたのは室田義文であつた。

義文を最もよく理解していた伊藤博文に先立たれると、彼は実業界で仕事をしていた伊藤に報いようと決意し、各方面で活躍した。日本人造肥料、三共製薬、内国貯金、日本不動産、常磐貯蓄銀行、朝日海陸運輸などの頭取、社長、重役を勤めた。

明治三十四年貴族院議員に勅任され、従四位勲二等の榮譽職のほか、財団法人常陽明治記念館の副会長、水戸育英会長、水戸徳川家顧問なども勤めた。

晩年母親の養育の恩に感謝して、森氏の森を分け「三樹」と号した。義文は特命全權大使として外国に赴く際、記念に櫻樹六百本を常磐神社の境内に植樹し、記念碑を建てて出発した。今そのなごりの櫻が教樹、春になると花を咲かせている。（二部省略）

水戸教育委員会 刊行
元水戸史学会理事久野勝弥先生記



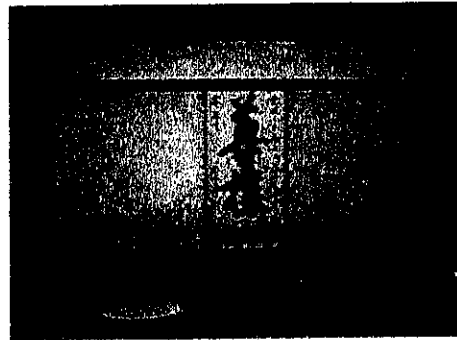
正庁
梅花



弘道館
正門
梅花



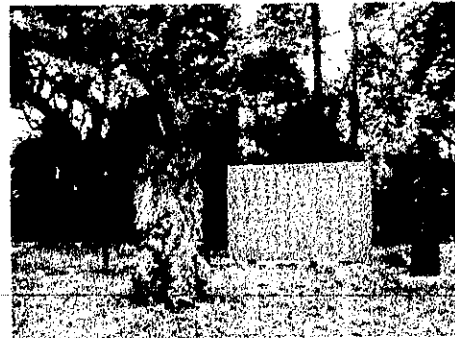
弘道館
梅林



正庁
正面



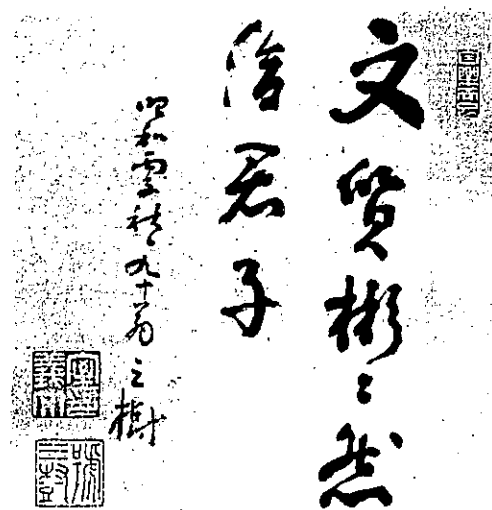
常磐神社 境内
室田義文翁記念樹・桜



常磐神社 境内
室田義文翁 説明板と桜



(「室田義文翁譚」より)



室田義文翁

室田義文翁筆跡

筆跡 (「室田義文翁譚」より)

「市川勢の軌跡」について

幹事 清水光夫

茨城新聞社及び茨城プレスセンター株式会社社長 市村眞一様のご了承を頂き、茨城新聞に平成19年1月より9月まで半年間に亘り連載されました「市川勢の軌跡」について、事務局において新聞記事をまとめて冊子を作成致しました。登録会員の皆様に配布することに致しましたので、貴重な史料ですので是非ご参考にして下さい。

尚、水戸藩諸生派に関する史料の極めて少ない中、市村様は平成20年2月に更に詳しく写真紀行を追加して「諸生派に関する著書」を出版されましたのでご紹介致します。

書名「市川勢の軌跡」
記 しばらくBOOKS2

著者 市村眞一

発行 茨城新聞社

定価 茨城県水戸市北見町2-15
800円

購入希望の方で地元書店で入手困難の方は、本会で注文を取りまとめて購入を代行しお送り致します。
本代金送料込み(※1040)の郵便局振替払込を以てご注文とします。

注文受付期限(平成20年5月31日)
払込先・最寄の郵便局

郵便局の払込取扱票に記入する事項
口座記号番号(00190-0-669669)
加入者名(水戸殉難者恩光碑保存会)
金額(本代金送料込み・※1040)
(登録会員の方は年会費と共に
※2040を納入下さい)

住所、氏名

「水戸の先達」より

水戸市制施行一〇周年記念
平成十二年発行

水戸市教育委員会 刊行

人物伝記コピー及び配布の件について水戸市教育委員会のご了承頂きましたので、幕末維新の時、水戸藩の激動時代の指導的人物について、ご紹介し、又その人物を通して郷土・水戸の歴史を、会員の皆様と共に理解を深めて参りたいと思えます。順次、会報・知恩に添付してご紹介して参る予定であります。
最初に恩光無辺碑・建碑の大神人の室田義文翁をご紹介致します。
「ご紹介予定者」
室田義文、
結城寅寿、 藤田東湖、
市川三左衛門、 武田耕雲斎、

朝比奈弥太郎、藤田小四郎
立原翠軒 藤田幽谷

内藤弥太夫 金子孫二郎
会沢正志斎 関鉄之介

更に、調査をして諸生派の代表的人物である城代家老・鈴木石見守についてご紹介して参る予定であります。

(ご報告)

平成20年3月15日総会時に次の方々より寄付金を頂きましたのでご報告致します。

金老万円也 会長 大森信英様
金老万円也 副会長 蔭山二郎様
金老万円也 副会長 朝比奈光一様
金参千円也 幹事 川上有文様
ご芳志有難う御座いました。

(お願いのこと)

本会は会員皆様の会費のみにて運営しています。新年度・(第2期・平成20年度)を迎えましたので、年会費の納入をお願い致します。同封の郵便局の払込取扱票により、最寄の郵便局に払い込みをお願い致します。

「新刊書・市川勢の軌跡」注文取りまとめのために、会費の納入を平成20年5月31日までにお願致します。

編集後記

茨城新聞社、茨城プレスセンター株式会社市村様にはご配慮を頂き厚く御礼申し上げます。

第1号でご紹介致しました郷土史家・金沢春友先生の著書名が間違っていましたので訂正します。「水戸天狗党と久慈川船運」が正しい著書名です。

費用負担の関係にて「市川勢の軌跡」冊子は登録会員宛てに発送させて頂きました。ご了承下さい。

事務処理上、「年会費納入済みの方」を「登録会員」と称させて頂きます。

水戸殉難者恩光碑保存会

会報知恩・第3号

発行 平成20年4月15日

発行人 大森信英

編集責任者 前沢瑞穂

編集委員 朝比奈光一

々々 清水光夫

々々 野澤 汎

々々 川上有文

々々 綿引周一

編集・印刷 事務局

水戸殉難者恩光碑保存会会則

- 一 本会は、水戸殉難者恩光碑保存会と称する。
- 二 本会は、幕末維新の時、水戸藩諸生派に所屬し、国事に奔走して殉難した人々を慰霊し供養する。
- 三 第二条の目的を達成するため、次のとおり慰霊法要を行う。
 - 1 場所 水戸市八幡町二丁目 祇園寺
 - 2 期日 原則として、隔年の9月彼岸中
- 四 本会は、水戸藩諸生派の後継子孫、親族、縁者及び本会の趣旨賛同者のうち、年会費納入者を会員とする。
- 五 慰霊法要は、全会員に通知して行うが、節目の年などに行う慰霊法要については特別参列者を招待する。
特別参列者は、その都度、役員会で決定する。
- 六 本会を運営するため、次の役員を置く。
 - 1 ①会長・一名 ②副会長・二名、③幹事・若干名 ④会計・二名、⑤監事・二名
- 七 会長は、総会で選出し、他の役員は会長が委嘱する。
但し、任期は必ずしも二年とするが再任は妨げない。
- 八 本会に、顧問を置くことができる。顧問は会長が委嘱する。
- 九 本会に、代議員制度を設ける。
 - 1 代議員は会長が指名し、役員会の承認を得る。
但し、任期は二年とするが再任は妨げない。
 - 2 代議員は、総会に出席し、議案を審議して議決権を行使する。欠席の場合は委任状によって議決権を行使する。
- 十 本会運営のため、会議を開催する。
 - 尚、会議はすべて会長が召集する。
 - 1 総会 最高議決機関として、顧問、役員、代議員が参加し、年一回定時に開催する。
但し、必要に応じて開催することができる。
- 十一 本会を運営するため、会計基準を次のとおり定める。
 - 1 収入の部
 - 1 役員年会費 金二千円也
 - 2 会員の年会費 金一千円也
 - 3 慰霊法要参加費はその都度役員会で決定する
 - 4 その他
 - 2 支出の部
 - 1 寺院関係費、齋費、通信費、法要経費、その他
 - 3 会計年度
 - 1 一月一日に始まり十二月三十一日に終わる
但し初年度は平成十八年十月二十二日から
平成十九年十二月三十一日までとする
- 十二 本会の事務局は次の所に置く。
水戸市八幡町十一―六十九 祇園寺内
水戸殉難者恩光碑保存会
- 十三 その他
 - 1 その他必要事項については役員会で協議し決定する。
 - 2 会員の異動等については事務局に連絡する。
 - 3 継続して三年以上にわたる不明者、及び継続して三年以上年会費未納者については退会者として取り扱う。
 - 4 この会則の変更は総会の議決による。
 - 5 この会則は、平成十八年十月二十二日から施行する。
 - 6 この会則は、平成二十年三月十五日に一部「第四条と第十一条3項」を改正する。

以上

会則・付則第一号

会費の納入について

会則第十一条第一項「収入の部」の規定により、会費の納入を戴くことになりました。
又、会費の納入を以って、入会の手続きとさせていただきますので郵便局に払い込みを次のとおり、お願い致します。

記

- 1 会費は、会計年度「一月一日から十二月三十一日まで」の年会費とし、定時総会後に、郵便局の払込取扱票をお送りしますので、毎年納入をお願い致します。
- 2 役員「代議員を除く」・年会費 金二千円也
会員「代議員を含む」・年会費 金一千円也
- 3 支払い方法
1、郵便局の振替用紙・払込取扱票に住所、氏名をご記入の上、最寄の郵便局にてお支払い願います。
2 郵便局の払込受領書を領収書とし、本会より領収書は発行致しません。
3 会費以上の金額は寄付金とさせていただきますので宜しくお願い致します。
4 金額を訂正した場合は、その箇所に訂正印を押してください。
- 5 慰霊法要参加会費
1 法要参加会費については、慰霊法要当日に受領致します。

以上

会則・付則第二号・恩光碑保存会基金特別会計

「不測の事態対処寄付金積み立て特別会計」

水戸殉難者恩光碑保存会の行事などの不測の事態に対処するため、特別会計勘定を設けて、その運営の健全化を図るために、会計基準を次のとおり定める。

記

- 1 この名称を 恩光碑保存会基金特別会計 と称する。
- 2 この目的は、法要行事運営上、不測の事態の発生により、水戸殉難者恩光碑保存会に資金不足を生じた場合に、この基金特別会計より出金して対処する。
- 3 この資金は、役員、会員、及び本会趣旨に賛同の方、各位による任意の寄付金を積み立てて基金とする。
随時、任意の寄付金に協力をお願いする。
- 4 この資金は、年度予算相当額以内を積立金の上限とし、限度額を役員会で決定する。
積立金上限・限度額 金三十万円也とする。
- 5 会計処理
この特別会計は、水戸殉難者恩光碑保存会会則の付則とし、会則第十一条の規定「会計基準」と同等に会計処理する。

以上

茨城新聞

4/12
[土曜日]

茨城新聞社

〒310-8686
水戸市北見町2番15号
電話(029)221-3121(代)
http://www.ibaraki-np.co.jp

編集センター
〒310-0842
水戸市けやき台3-42-1
電話(029)248-5500(代)

©茨城新聞社 2008

地域と共に17年

市村真一著「市川勢の軌跡」発刊に寄せて

常盤大学教授

鈴木 映一

人は少ない。王政復古にのりとしてほとんどの語りよって政局の大転換が起 伝えられることもなく、こり、天狗派が勝利する 歴史の間に消え去るものと幕末期の水戸藩が、一と、市川らの一隊(市川)していた、幕末・維新期一般に「天狗派」「諸生 勢」五百人は、水戸を脱 水戸藩のもう一つの側派」と称される二派に分 出して、会津、新潟と転 面に光を当てようとしたかたて悲惨な抗争を繰り 戦。再び水戸に戻って弘 労作である。

幕末水戸藩の側面に光

天狗派が数費で三百五十人も一挙に処刑されるといふ悲劇を生んだこと は、よく知られている。しかし門閥派の重鎮、市川三左衛門らに率いら れた諸生派にも、同様の 悲劇があったことを知る 人ほどになっていった。

寄稿

道館で敵軍と戦ったが敗 北して南下。ついに下総 の軌跡」は平成十九年一 月から九月にかけて、三 十一回にわたって茨城新 聞に掲載された。この市川勢の二百三十 日間、千手にもおおよ ぶ 第二部は、今回出版す るに当たって追加された 勢の焦りと悲しみが伝わ ってくる。市川勢が水戸城に戻っ

本書は二部構成になっ とである。 叙述は簡潔明快でむだ がない。読者には刻々と 変わるその「現場」に身 を置きながら、仲間を失 っていく死の行軍を続けな ければならなかった市川 勢の焦りと悲しみが伝わ ってくる。 市川勢が水戸城に戻っ

ての戦闘中、一行と離 れて、本行寺で自刃した茨 庄左衛門が母にあてた遺 書や、市川自身の「君ゆ へにすつる命はおしまね と忠か不忠になるを悲し む」という辞世の歌は、 胸を打つ。 中でも目を引くのは、 黒崎雄二の消息である。 十六歳で市川勢に加わ り、最後まで戦って辛く も生き延び、明治六年、 二十二歳で米田、さらに 英国に渡り、十七年に帰 国した。 彼は市川勢の中で公に 戦闘の様様を語った唯一 の人物で、三十九年に史観 会のインタビューに答え

マツノ」があり、撮影地 向とマツノの番号を対応 させて、その地点が分か るようになっていた。 本書の特色はなんと言 っても残されている史料 を前もって精査した上 き」という辞世の歌は、 胸を打つ。 中でも目を引くのは、 黒崎雄二の消息である。 十六歳で市川勢に加わ り、最後まで戦って辛く も生き延び、明治六年、 二十二歳で米田、さらに 英国に渡り、十七年に帰 国した。 彼は市川勢の中で公に 戦闘の様様を語った唯一 の人物で、三十九年に史観 会のインタビューに答え

平成 20 年 4 月 15 日

水戸殉難者恩光碑保存会
会員各位

茨城県水戸市八幡町 11-69 祇園寺内
水戸殉難者恩光碑保存会
会長 大森信英

会報知恩・第 3 号 送付のこと

拝啓

春暖の候、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。

日頃は、本会の運営に深いご理解とご協力を頂き厚く御礼申し上げます。

このたび、会報知恩第 3 号を作成致しましたので会員の皆様にお送り致します。

又、先般・法要の時、ご説明のありました茨城新聞連載記事・「市川勢の軌跡」について、本会事務局で冊子にまとめましたので、登録会員（年会費納入済み者）の方で、法要時に、お渡しできなかった方に改めてお送り致します。貴重な史料ですので是非ご参考にしてください。

尚、茨城新聞社では、改めて、写真紀行を追加して新刊書「市川勢の軌跡」を発刊されましたのでご紹介致します。（4 月 12 日・茨城新聞抜粋記事参照）

お願いのこと

- 1 平成 20 年度の総会も終わりました。新年度の会費を納入下さいます様お願い致します。
（同封の郵便局・払込取扱票にて）
※既に年会費を納入済みの方はご注意ください。
- 2 現地慰霊旅行「千葉県八日市場」の参加申し込みを 5 月 31 日までにお願い致します。
（会報知恩 3 頁参照）
- 3 新刊書「市川勢の軌跡」購入希望の方は 5 月 31 日までに郵便局に払い込みを済ませて下さい。
（会報知恩 6 頁参照）

敬具